

平成23年10月18日

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ

大阪市立自然史博物館
学芸課学芸員 佐久間大輔
電話 06-6697-6222

「大阪自然史フェスティバル2011・リミテッド」

開催のご案内

大阪市立自然史博物館では、「大阪自然史フェスティバル2011・リミテッド」を関西文化の日である平成23年11月19日（土）、11月20日（日）に開催します。

「大阪自然史フェスティバル」は、自然関連のサークル、地域の自然保護団体などが活動を紹介し、交流を深め、市民のみなさんに大阪の自然の現状や自然に関わる活動の楽しさを知っていただくイベントです。

大阪市立自然史博物館では「大阪自然史フェスティバル」を2003年、2004年、2006年、2009年と過去4回開催してきました。また、2007年、2010年にはテーマを鳥に絞った「大阪バードフェスティバル」、2008年は、関西自然保護機構創立30周年を記念して企画した「かんさい自然フェスタ」と、さまざまなフェスティバルを催してきました。毎回当初の予想以上の盛り上がりを見せ、各回の来場者は1万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」を楽しんでいただいております。今回も自然に興味のある多くの方々のご来場をお待ちしております。

- ご取材にお越しの方は5ページの取材申込書にてFAXでお申込下さい。
- 広報用写真をご用意しています。6ページの広報写真申込書もFAXでお申込下さい。

記

1. 名 称：「大阪自然史フェスティバル2011・リミテッド」
2. 期 間：平成23年11月19日（土）、11月20日（日）
3. 会 場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23（長居公園内）
TEL 06-6697-6221 FAX 06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m
4. 入 場 料：無料
※平成23年11月19日・20日は「関西文化の日」のため、博物館常設展入
場料も無料となります。ただし、その他の特別展は有料です。
5. 開催時間：午前9時30分から午後4時30分（ただし両日とも入館は午後4時まで）
6. 開催内容：（両日とも）

◆ブース展示

博物館玄関前ポーチ、博物館本館1階などで、アート・自然・文化の融合をテーマに、出展団体が活動紹介や標本などの展示をします。参加型の工作・体験コーナーや水槽などで生き物を展示するブースもあります。

◆ワークショップ

長居植物園などで、様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実演します。受付はいずれも当日会場で行います。

◆ 講習会

自然に関する様々なイベントを行います。

「♪鳥くん講演会『鳥と人に出会う旅』～鳥の歌 ミニコンサートもあるよ～」

11月19日（土）12:15～13:15

11月20日（日）12:15～13:15

参加費：無料

野鳥研究家・シンガーソングライターとして大活躍の♪鳥くん（永井真人氏）のお話を聞きます。

主催：コーワ

「谷口高司のタマゴ式鳥絵塾」

11月19日（土）11:00～、13:45～、15:15～

11月20日（日）11:00～、13:45～、15:15～

参加費：700円

定員：各回 30 名

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による鳥の絵の描き方講習会です。「鳥絵塾ですが、野鳥だけでなく恐竜の絵も描く予定です。

主催：谷口高司鳥絵工房

「はじめての鳥見たい（隊）」

11月20日（日）10:30～12:00、13:30～15:00

参加費：無料

定員：各回 50 名

野鳥を観察することが初めての方、まだあまり経験のない方も大歓迎です。

主催：日本野鳥の会大阪支部

◆講演会

自然史博物館講堂で、自然に関する講演会を行います。

「環境 NPO のための政策提言入門セミナー（生物多様性を地域でどう守るか～NPO/NGO に期待される役割～）」

日時：11月19日（土）10:00～12:00 講師：川廷昌弘氏（CEPA ジャパン）ほか

資料：1000 円

地域での活動をどのように生物多様性に結び付けたらいいのか、という声に応え、生物多様性政策の紹介や政策提言プロセスを考えるセミナーを開催します。

主催：NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会ほか

「あなたなら何ができる？何をする？－愛知ターゲットをカンガエル－」

日時：11月19日（土）14:00～16:00

講師：道家哲平氏（IUCN-J）、宮川五十雄氏（生物多様性かんさい）ほか

生物多様性の保全のためには、いろいろな立場からの参加が必要です。IUCN-J がスタートさせた、多様な団体と手を取りあって取り組むための「にじゅうまるプロジェクト」。昨年名古屋で開催された国際会議で日本を中心に策定された「愛知ターゲット」の実現に向けて、一緒に行動していきましょう。

主催：IUCN-J、生物多様性かんさい、大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館

「東北キャラバンの緊急報告－東北でワークショップをやってきました！－」

日時：11月20日（日）11:00～12:00

講師：西澤真樹子氏（なにわホネホネ団・大阪自然史センター）

主催：大阪自然史センター

「鳥のごちそう、猿のごちそう、ひとのごちそう－『うまいもん』から考える生物多様性－」

日時：11月20日（日）13:00～14:15

講師：湯本貴和氏（人間文化研究機構 総合地球環境学研究所教授）

主催：大阪市立自然史博物館

「リレートーク『海こそ生物多様性のみなもと』（「写真でわかる磯の生き物図鑑」出版記念）」

日時：11月20日（日）14:30～16:30

講師：今原幸光氏（黒潮生物研究所）ほか

海岸の生物を観察する本格的な手引書として「写真でわかる磯の生き物図鑑」（トンボ出版）が今年の夏に出版されました。本書は主に大阪湾や紀伊半島の海岸をフィールドとしている研究者が力を合わせて作り上げたものです。出版を記念し、その執筆者による多彩な語り口で、海の生物の魅力をも十分に披露します。

主催：関西自然保護機構

7. 主 催：特定非営利活動法人大阪自然史センター、関西自然保護機構、
大阪市立自然史博物館、社団法人日本望遠鏡工業会

8. 協 賛：社団法人日本望遠鏡工業会、株式会社ケンコー・トキナー、コーワ、株式会社ニコソイメージングジャパン、株式会社ビクセン、協栄産業株式会社、
有限会社エンウィット、認定NPO法人生態工房、特定非営利活動法人地域と自然、鳥工房AYA、株式会社文一総合出版

9. 協 力：谷口高司鳥絵工房

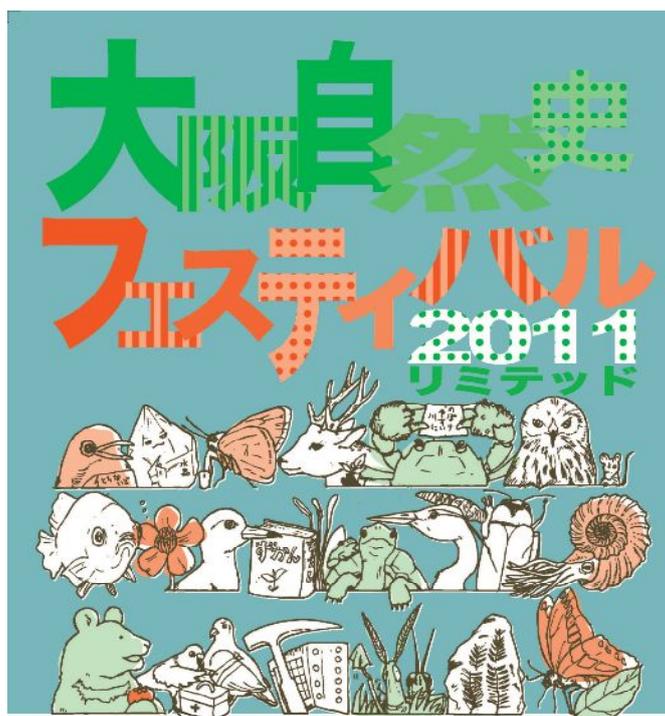
10. 出展団体：大阪周辺の自然観察団体など55団体

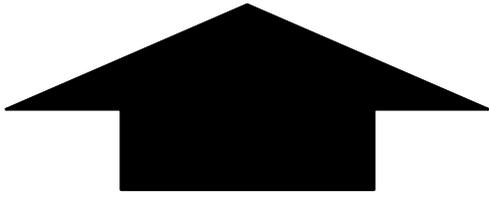
大阪自然史フェスティバル2011・リミテッド（Webサイト）

<http://www.omnh.net/npo/fes/2011/>

※ポスターの広報用イラストは、上記Webサイトからもダウンロードしていただけます。

大阪自然史フェスティバル2011・リミテッド（イメージイラスト）





F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館
総務課広報 宛
TEL.06-6697-6222, FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

「大阪自然史フェスティバル2011・リミット」

会期中、会場内における取材を希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。お手数ですが、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、ビデオ、カセット、MD など）お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

取材申込書

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日	平成23年 月 日 () : ~ :
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.
掲載記事・放送番組名	
掲載日 (発行日) 放送日時	

